

平成 21 年度 ExTEND2005 基盤的研究成果発表会
プログラム

(開場 9:30)

(開会・概要説明 10:00～10:10)

(敬称略)

発表時間 区分	代表研究者	所属	研究課題名
10:10～10:30 基盤 1	青山博昭	残留農薬研究所 毒性部	哺乳類を用いた毒性実験の結果に影響を及ぼす実験動物の遺伝的要因解析
10:30～10:50 基盤 4	鯉淵典之 (代理) 下川哲昭 岩崎俊春	群馬大学大学院 医学系研究科	核内ホルモン受容体による転写調節における環境化学物質の作用機構
10:50～11:10 その他 1	井口泰泉 (代理) 加藤泰彦	自然科学研究機構 基礎生物学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター	ミジンコにおける内分泌かく乱作用メカニズムの解析
11:10～11:30 その他 2	井口泰泉 (代理) 宮川信一	自然科学研究機構 基礎生物学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター	魚類エストロゲン受容体を用いた種特異性・リガンド特異性の <i>in vitro</i> スクリーニング系開発
11:30～11:50 20FS 2 (基盤)	大迫誠一郎	東京大学 医学系研究科	化学物質誘発性のエピジェネティック修飾による DOHaD モデルの検証
11:50～12:10 21FS 3 (基盤)	徳元俊伸	静岡大学 理学部	構造活性相関に基づくステロイド膜受容体作用物質群の同定

* 発表時間には質疑 5 分を含む。

(昼食 12:10～13:00)

発表時間 区分	代表研究者	所属	研究課題名
13:00～13:20 20FS 3 (基盤)	有菌幸司	熊本県立大学 環境共生学部	メダカの再生産に及ぼす化学物質及びその代謝物の影響とトキシコゲノミクスによる作用機序の解明
13:20～13:40 20FS 4 (基盤)	安住薫	北海道大学大学院 薬学研究院	海産無脊椎動物ホヤのトキシコジェノミクス基盤研究と生態調査
13:40～14:00 20FS 5 (基盤)	早川和一	金沢大学 医薬保健研究域薬学系	多環芳香族炭化水素類の内分泌かく乱作用の構造活性相関に基づく魚鱗の化学物質スクリーニング法に関する研究
14:00～14:20 21FS 4 (基盤)	古賀実 (代理) 内田雅也	熊本県立大学 環境共生学部	無脊椎動物(アミ類)における生殖・発生異常とその発生メカニズム
14:20～14:40 基盤 2	中西剛	岐阜薬科大学 衛生学研究室	胎児期におけるエストロゲンシグナルの gain of function とその性分化の可塑性
14:40～15:00 基盤 3	太田茂 (代理) 杉原数美	広島大学大学院 医歯薬学総合研究科	胎仔期、新生仔期の代謝機能と内分泌かく乱作用発現
15:00～15:20 基盤 5	岩田久人	愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	野生生物のリスク評価を目指した核内受容体リガンドの網羅的解析法の開発
欠席 基盤 6	長濱嘉孝	自然科学研究機構 基礎生物学研究所	メダカの生殖内分泌系に及ぼす化学物質の内分泌かく乱作用の作用メカニズムに関する研究

* 発表時間には質疑 5 分を含む。